



## <CAM インドネシア・リサーチ・レポート>

2019年7月8日

### インドネシアの外貨準備高回復

#### 利下げの環境が整う？

インドネシア中央銀行は7月5日、6月末の外貨準備高が、5月末から3%増加し1,238億2,300万米ドル（約13兆4,305億円）になったと発表した。同国の外貨準備高は、4月末は前月比-0.2%、5月末は前月比-3.18%と2カ月連続で減少していたが、3カ月ぶりにプラスに転じた。石油・ガスの取引が貢献した。

外貨準備高は、輸入代金の7.1カ月分、あるいは輸入代金と対外債務の返済額を合わせた額の6.8カ月分に相当する。国際標準とされる輸入代金3カ月分を上回っており、十分な水準を維持している。



出所：インドネシア中央銀行のデータを基にキャピタル アセットマネジメントで作成

過去数カ月の外貨準備高の減少は、同国の経済政策を躊躇させていた一因であったと思われるが、外貨準備高水準の回復は、今後利下げを含めた積極的な経済政策をとりうる環境を提供したと言える。

以上